

令和3年12月21日

### 第37回「県民文化奨励賞」の贈呈について

一般財団法人ケンシン地域振興財団では、地域の文化活動に対する表彰事業を目的として、地域の文化活動の発展に功績のあった方々に「県民文化奨励賞」の贈呈を行いました。

1. 第37回「県民文化奨励賞」贈呈式  
日 時 令和3年12月13日（月）  
場 所 ANAクラウンプラザホテル広島

2. 受賞者  
県民文化奨励賞  
折河 宏治氏（声楽家） 広島市在住  
田代 昭夫氏（漆芸作家） 三原市在住

3. 受賞者の紹介  
県民文化奨励賞  
折河 宏治 氏（声楽家）

折河宏治氏は、昭和50年生まれ。国立音楽大学大学院を修了。

数々のオペラの主要な役で出演するほか、コンサートでも精力的に活動している若手声楽家。平成21年第14回日本モーツァルト音楽コンクールでは第3位。

平成14年国立音楽大学院オペラ「フィガロの結婚」のフィガロでオペラデビュー。

ひろしまオペラ・音楽推進委員会主催公演に数多く出演、「班女」（吉雄）での好演は記憶に新しい。平成27年8月には、マツダスタジアムでの広島東洋カープ主催試合において国歌を斉唱。

平成23年からはエリザベト音楽大学准教授として後進の指導にも力を注いでいるかたわら、広島市では平成25年から「こども夢コンサート」、東広島市では平成29年から「0歳児から楽しめる親子コンサート」を企画するなど音楽をとおして乳幼児期の感性を磨く活動も行っている。

田代 昭夫 氏 (漆芸作家)

田代昭夫氏は、昭和50年生まれ。筑波大学生物資源学類を卒業後、福山の木工訓練校等で木工の基礎を学ぶ。木工に使用する「拭き漆」から漆の道へ導かれ、石川県立輪島漆芸技術研修所、香川県漆芸研究所に通い、重要無形文化財保持者(人間国宝)太田儔氏らに薫陶を受ける。

全国伝統的工芸品公募展で中小企業庁長官賞、第62回日本伝統工芸中国支部展で広島県知事賞など、公募展に果敢に挑戦し、評価を得てきた。

竹を自ら割ってひごを作り、編んで器体を作る「籃胎漆器」は作者の得意とする技法のひとつであり、輪島で修行した「塗りたて」も作品をしっとりと引き立てる。最も手間がかかり、あまり人が手がけない分、自分の独自性を追及するために。

平成23年からは尾道市立大学美術学科で漆芸を教授するなど、自らの作品制作とともに後進の指導にも尽力している。